

# 平成 1 4 年 8 月 教 育 長 定 例 記 者 会 見 資 料

事 項	内 容				備 考
県立高等学校再編整備の前期実施計画（平成15年度実施対象校）について	<b>1 県立高等学校再編整備の前期実施計画（平成15年度から18年度実施計画）について</b> 「県立高等学校再編整備の基本計画」に基づき、今年度末までには策定、公表し、平成15年度から実施することとしております。そのうち、平成15年度実施分については、中学生・保護者の進路選択等を勘案し、夏休みが終了し、中学校の進路指導が本格化する前のこの時期に別に策定し、公表することとします。				
	<b>2 平成15年度実施対象校</b>				
	新高校のタイプ	全日制課程単位制高等学校	連携型中高一貫教育校	総合学科の高等学校	学科改編（福祉科の設置）
	対象高校	太田第一高等学校	小瀬高等学校	取手第一高等学校	古河第二高等学校
	設置場所	常陸太田市栄町58	那珂郡緒川村上小瀬1881	取手市台宿2-4-1	古河市幸町19-18
	設置内容	全日制課程単位制高等学校	美和・緒川・御前山3中学校との連携型中高一貫教育校（高校は単位制）	総合学科の高等学校（単位制）	家庭に関する学科（教養福祉科） 福祉に関する学科（福祉科）
	設置学科	普通科	普通科	総合学科	普通科・福祉に関する学科（福祉科）
	募集学級 募集定員	7学級 （280人）	3学級 （120人）	普通科1・工業科3・商業科3学級 総合学科6学級（240人）	普通科 6学級（240人） 福祉科 1学級（40人）
	通学区域	全県1学区	第2通学区	全県1学区	普通科（第5通学区）、 福祉科（全県1学区）
	学 期 制	2学期	2学期	2学期	3学期
改編のねらい	単位制を導入することにより、生徒の多様な希望に応じた教育課程を編成し、習熟度別学習や少人数授業を実施し、一人一人の学力の向上を目指すとともに、自ら考え、自ら行動できる生徒の育成を図る。	中学校・高校を連携することにより、地域に根ざす教育活動を一層推進し、将来にわたって地域に貢献する有為な人材の育成を図る。異年齢集団の交流を活発化し、豊かな感性を培い、心豊かでたくましい生徒の育成を図る。	総合選択制の蓄積を生かし、総合学科に改編することにより、多様な生徒のニーズにより一層対応した科目選択を可能とする教育課程の編成を図る。職業理解及び自己理解を深め、明確な職業意識をもって学習できる生徒の育成を図る。	家庭に関する学科に位置付けてあった教養福祉科を福祉に関する学科の福祉科に位置付け直すことにより、より一層充実した福祉教育の実施を図る。 普通科の生徒も福祉に関する科目の選択を行い、福祉教育を特色とする学校づくりを図る。	
改編の主な内容	多様な科目開設と科目選択 各年次に多くの選択科目を開設し、特に3年次では進路希望に応じた11類型を軸にして、生徒それぞれが多様な科目選択ができるようにする。 主な選択科目 随筆文学研究、史伝研究、女流日記文学研究、地域研究、時事問題研究、実用数学、数的推理、地球環境、科学探究、生涯スポーツ、造形基礎、書の世界、時事英語、フードデザイン等	6年間を見通した教育課程の編成 系統的な教科指導により基礎的・基本的内容の定着を図るとともに、高校では6つの履修モデルを軸に生徒一人一人がそれぞれ科目選択する。 中学校・高校の生徒・教員の交流 高校の英語・数学の教員が中学校で指導をするほか、合唱祭や部活動合同練習など、生徒・教員の交流を行う。 地域をテーマにした学習 総合的な学習の時間を中心として地域をテーマにした学習を進める。	単位制、約100の選択科目、きめ細かな進路ガイダンス 3系列6分野の設置 インフォメーション系列（情報技術分野・情報処理分野）... コンピュータを中心として工業・商業分野学習 プラクティカル系列（メカニク分野・ビジネス分野）...実習を重んじた工業・商業分野の学習 アカデミック系列（理科系分野・文科系分野）...大学進学対応 学期ごとの科目も開設する。	福祉科の学習の概要 1年...社会福祉や医学・看護の基礎的な知識・技術について学習 2年...老人介護・社会福祉・援助技術などより専門的な学習 3年...社会福祉実習等の実践活動を実施し、実社会での福祉に役立つ資格取得対応の学習 取得可能な資格 介護福祉士国家試験受験資格、訪問介護員（ホームヘルパー）1、2級、	
備 考	平成15年度入学者選抜は、従来と同様の方法で行う。				

高校教育課  
 高校教育改革推進室担当  
 (029-301-5248)